



# Cisco Unity Express ボイスメールと自動受付の概要

Cisco Unity Express のボイスメール アプリケーションと自動受付アプリケーションは、Cisco CallManager および Cisco CallManager Express (CME) と連動して、中小規模の企業に次の機能を提供します。

- オンサイトまたはリモートの電話ユーザのボイス用メールボックスを作成し、維持します。Release 2.1 は最大 100 のメールボックスをサポートします。メールボックスの最大数は、Cisco Unity Express 用に購入したハードウェア モジュールとライセンス契約書によって異なります。
- 発信者が会社の電話番号をダイヤルしたときに再生され、発信者を特定の内線または従業員につなぐメッセージを録音し、アップロードします。

## 目次

- [Cisco CME で Cisco Unity Express を実装する前提条件 \(P.8\)](#)
- [AIM と NM の相違点 \(P.14\)](#)
- [自動受付グリーティングまたはプロンプト ファイルの録音 \(P.14\)](#)
- [自動受付スクリプトの設定 \(P.14\)](#)
- [AIM と NM の相違点 \(P.14\)](#)
- [ソフトウェア ライセンスとファクトリ セットの制限 \(P.15\)](#)
- [Cisco Unity Express とその他のボイスメール システムとのネットワークング \(P.17\)](#)
- [管理インターフェイス \(P.17\)](#)
- [Cisco Unity Express と Cisco Unity の相違点 \(P.18\)](#)
- [Cisco Unity Express と Cisco CME の相互作用 \(P.18\)](#)
- [Cisco Unity Express と Cisco CME の相違点 \(P.19\)](#)
- [その他のリファレンス \(P.20\)](#)

## Cisco CME で Cisco Unity Express を実装する前提条件

Cisco Unity Express コンフィギュレーションを開始する前に、Cisco CME システムをインストールする必要があります。Cisco CME インストールを実行していない場合は、インストール担当者またはサポート担当者に連絡して、次の手順を完了するようにしてください。

1. Cisco CME および Cisco Unity Express のハードウェアをすべてインストールし、機能を確認します。
  - 電話機を接続して、Cisco CME ルータに登録させます。
  - Cisco CME ルータで、ネットワーク モジュール (NM) 用の Cisco IOS Release 12.3(4)T またはそれ以降のリリースおよび拡張統合モジュール (AIM) 用の Cisco IOS Release 12.3(7)T またはそれ以降のリリースが設定されていることを確認します。
  - Cisco CME がインストールされているのと同じルータに Cisco Unity Express NM または AIM をインストールします。
  - NM の場合は、Enable LED が点灯していることを確認します。



注意

Cisco 3745 ルータに AIM をインストールする場合は、AIM1 というラベルの付いた AIM スロットにインストールする必要があります。Cisco 3745 ルータで AIM0 というラベルの付いた AIM スロットに AIM をインストールすると、AIM が損傷する可能性があります。



(注)

Cisco Unity Express モジュールを格納するルータに無停電電源 (UPS) を接続することを強くお勧めします。信頼できる任意の UPS 装置により、ルータおよび Cisco Unity Express モジュールの動作を維持するための電力が途切れずに済みます。電力消費は Cisco プラットフォームによって異なるので、装置の容量と実行時間を考慮に入れてください。Cisco Unity Express をシャットダウンするようルータに指示してからルータの電源を切るシグナリング メカニズムを UPS に組み込むことをお勧めします。

Cisco IOS Release 12.3(4)T は、次のコンフィギュレーションがルータに追加された場合に UPS 装置への自動スイッチオーバーをサポートします。

```
line aux 0
privilege level 15
modem Dialin
autocommand service-module service-engine slot/0 shutdown no-confirm
```

ここで、*slot* は Cisco Unity Express モジュールのスロット番号です。

2. Cisco CME ソフトウェア機能をインストールし、確認します。
  - a. Cisco CME コンフィギュレーション Web ページにアクセスできる必要があります。
  - b. Cisco CME ルータ のフラッシュ メモリに次のファイルがあることを確認してください。これらは、Cisco Unity Express GUI の機能を制御します。
    - CiscoLogo.gif
    - Delete.gif
    - Plus.gif
    - Tab.gif
    - admin\_user.html

```

– admin_user.js
– dom.js
– downarrow.gif
– ephone_admin.html
– logohome.gif
– normal_user.html
– normal_user.js
– sxiconad.gif
– telephony_service.html
– uparrow.gif
– xml-test.html
– xml.template

```

- c. Cisco CME 設定モードで次のパスを設定します。

```
Router(config)# ip http path flash:
```

**show run** コマンドでパスを確認します。

- d. **service-engine** インターフェイスで **ip unnumbered** コマンドを設定するには、ルータで Cisco IOS ソフトウェア コマンドを使用して、Cisco Unity Express モジュールへのスタティック ルートを作成します。たとえば、次のようになります。

```
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 91.91.19.1
ip route 10.3.6.128 255.255.255.255 Service-Engine1/0
```

この例で、10.3.6.128 は Cisco Unity Express モジュールの IP アドレス、Service-Engine1/0 は Cisco Unity Express モジュールを格納するルータ スロットです。

- e. SIP ダイアル ピアが Cisco Unity Express モジュールを指すように設定されていることと、それが G.711 U-law と SIP Notify for DTMF Relay を指定し、VAD がオフになっていることを確認します。たとえば、次のようになります。

```
dial-peer voice 6000 voip <----- SIP dial-peer pointing to Cisco Unity Express
destination-pattern 6...
session protocol sipv2
dtmf-relay sip-notify
session target ipv4:10.3.2.100 <---- Cisco Unity Express IP address
codec g711ulaw
no vad
```

ダイヤル プランをサポートする SIP ダイアル ピアの数適切に設定します。

- f. Cisco Unity Express と通信する FTP サーバは、受動 FTP 要求をサポートしている必要があります。FTP サーバでこの機能を設定するには、FTP サーバのマニュアルを参照してください。
- g. Cisco CME Web 管理者にユーザ ID とパスワードが設定されていることを確認します。たとえば、次のようになります。

```
telephony-service
.
.
.
.
web admin system name admin password user1
```

または、

```
web admin system name admin secret 5 encrypted-password
```



(注) コンフィギュレーションに Cisco Unity Express グラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) を使用する場合は、Cisco CME インターフェイスでパスワードを使用して管理者ユーザ ID を設定します。GUI にはこのユーザとしてログインする必要があります。Cisco CME 内で管理者ユーザが作成されていない場合、管理者は Cisco Unity Express GUI で Initialization ウィザードを続行できません。Release 1.1 では、管理者はインストール手順で作成されます。

- h. 電話機とユーザを設定します。Cisco Unity Express CLI コマンドまたは GUI オプションを使用して、追加ユーザと電話機を作成することができます。CLI コマンドと GUI オプションを使用すると、Cisco CME データベース内に電話ユーザが作成されます。同期 CLI コマンドまたは GUI オプションを使用して、ユーザと電話機を Cisco Unity Express データベースにコピーしてください。

次のサンプル ephone-dn コンフィギュレーションおよび ephone コンフィギュレーションを使用して、電話機とユーザを手動で設定してください。

```
ephone-dn 1 <---- ephone dn configuration for a user
  number 8004
  name User1
  call-forward busy 6900
  call-forward noan 6900 timeout 10
!
!
ephone-dn 20 <---- ephone dn configuration for a group
  number 8801
  name Salesgroup
  call-forward busy 6900
  call-forward noan 6900 timeout 10
!
!
```

- i. メッセージ ウェイティング インジケータ (MWI) のオンの内線およびオフの内線を設定します。電話の内線番号の長さを示すため、ワイルドカード文字 (.) を DN に追加します。Cisco Unity Express は、Initialization ウィザードで Cisco CME から MWI DN をインポートする際にこれらのワイルドカードを必要とします。ワイルドカード文字が Cisco CME で設定されていない場合、DN は MWI 内線フィールドに使用可能な選択肢として表示されません。次の例を参考にしてください。

```
ephone-dn 30 <---- ephone-dn configurations for MWI on
  number 8000.... <---- valid MWI DN 4-digit extension
  mwi on
!
!
ephone-dn 31 <---- ephone-dn configurations for MWI off
  number 8001.... <---- valid MWI DN 4-digit extension
  mwi off
!
!
!
ephone 1 <--- ephone configured for the ephone-dn configured above
  username "admin1" password null
  mac-address 0009.B7F7.556A
  button 1:1 2:20 3:21 4:22 5:23
```

3. (オプション) Cisco CME インターフェイスでユーザが作成されていない場合は、すべてのユーザ、グループ、それらの内線のリストを作成します。このリストにより、多数のユーザと内線を設定するタスクが容易になります。



(注) ボイスメール メッセージを受信するユーザごとにプライマリ内線番号を指定します。Cisco Unity Express は、番号 E.164 に対して MWI をアクティブにしません。

4. (オプション) 自動受付アプリケーション用にオプション初期メッセージを作成します。デフォルトの初期メッセージが自動受付に付属しています。.wav ファイルで別のメッセージを作成し、それを自動受付コンフィギュレーションの一部としてインストールすることができます。詳細については、[P.14](#) の「[自動受付グリーティングまたはプロンプト ファイルの録音](#)」を参照してください。
5. (オプション) ビジネス上の要件に応じて、自動受付プロンプトのフローをカスタマイズします。詳細については、[P.14](#) の「[自動受付スクリプトの設定](#)」を参照してください。
6. (必須) Cisco Unity Express モジュールの IP アドレスを記録します。GUI にアクセスしてシステムを構成するには、この IP アドレスが必要です。

## Cisco Unity Express を実装する際の制限

Cisco Unity Express Release 2.1 には次の制限があります。

### ネットワーキング

- Cisco Unity Express は、ほかの Cisco Unity Express および Cisco Unity ボイスメール システムとのボイスメール ネットワーキングだけをサポートしています。その他のボイスメール システムに対するネットワーキング サポートは、Release 2.1 では利用できません。

### システムの機能

- NM では、管理者特権を持つ 1 人とユーザ特権を持つ 4 人だけが GUI に同時にログインできません。AIM では、1 人の管理者と 2 人のユーザだけが GUI に同時にログインできます。
- 日付と時刻は NTP サーバによって決定され、Cisco Unity Express ソフトウェアで設定することはできません。Cisco Unity Express は、ネットワーク転送プロトコル (NTP) クライアントとして設定できます。詳細については、『*Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1*』の NTP コンフィギュレーションの項と NTP サーバ CLI を参照してください。
- Cisco Unity Express は、システムで一度に 1 つの言語をサポートします。選択できる言語は、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語です。この言語は、電話ユーザインターフェイス (TUI) のシステム プロンプトとグリーティングを制御します。管理インターフェイス (GUI および CLI) は、アメリカ英語だけで使用可能です。Cisco CallManager Express は電話機ディスプレイを制御します。これは、複数の言語で使用でき、Cisco Unity Express でサポートされる言語とは無関係です。

### ボイスメール アプリケーション

- Cisco Unity Express は、ユーザごとに標準グリーティングとオプション グリーティングの 2 つのグリーティングをサポートしています。グリーティングの時間は、ユーザに割り当てられたメールボックス格納域に含まれます。

### ハードウェアの制限

- ルータ シャーシごとに許可される Cisco Unity Express モジュールは、シャーシ内のモジュール スロットの数に関わらず、1 つだけです。
- AIM は、Cisco 3745 ルータ シャーシのスロット 0 にはインストールできません。
- NM の前面パネルのファースト イーサネット 0 ポートは Cisco Unity Express アプリケーションには使用されず、使用不能になっています。ファースト イーサネット 1 ポートは Cisco Unity Express ネットワーク モジュールをルータに接続します。これは、ネットワーク モジュール上で唯一のアクティブなファースト イーサネットです。
- NM 上のハード ディスクは置換できません。ネットワーク モジュールのハード ディスクがクラッシュした場合は、ネットワーク モジュールを置換する必要があります。
- Cisco Unity Express NM の online insertion and removal (OIR; 活性挿抜) は、Cisco 3745 ルータと 3845 ルータでだけ実行できます。置換モジュールは元のモジュールと同じタイプである必要があります。OIR は AIM には使用できません。



#### 注意

ネットワーク モジュールまたは AIM フラッシュ メモリ カードを置換する必要がある場合は、ファイルの破損やデータの損失を避けるため、シャーシからモジュールを削除する前に Cisco Unity Express アプリケーションを手動でシャットダウンします。

### バックアップと復元

Cisco Unity Express は、次のバックアップ機能と復元機能をサポートしません。

- スケジュールされたバックアップ操作および復元操作。適切なコマンドを入力すると、バックアップ手順と復元手順が開始されます。
- メッセージ格納域の一元的な配置。Cisco Unity Express バックアップ ファイルは、その他のメッセージストアとともに使用したり統合したりすることができません。
- 選択的なバックアップと復元。完全なバックアップ機能と復元機能だけを使用できます。個々のボイスメール メッセージまたはその他の特定のデータの格納や取得はできません。

### その他の制限

- Cisco Unity Express は組み込まれたシステムであり、Linux システムへのアクセスは提供されません。ユーザがその他の Linux ベースのアプリケーションを Cisco Unity Express モジュールに追加することはできません。
- Cisco Unity Express は、ハードウェア インベントリを除き、Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) を使用した管理と構成をサポートしていません。
- Cisco Unity Express は、Cisco Networking Services (CNS) または Subnetwork Access Protocol (SNAP; サブネットワーク アクセス プロトコル) の自動プロビジョニングをサポートしていません。
- Cisco Unity Express は CiscoWorks configmaker をサポートしていません。

## 自動受付グリーティングまたはプロンプト ファイルの録音

自動受付グリーティングおよびプロンプト ファイルを作成する 2 つの方法を次に示します。

- G.711 U-law, 8 kHz, 8 bit, Mono の形式で .wav ファイルを作成します。ファイルを 500 KB よりも大きくすることはできません。グリーティングの録音後、GUI オプション **Voice Mail > Prompts > Upload** または Cisco Unity Express CLI **ccn copy** コマンドを使用して、ファイルを Cisco Unity Express システムにコピーします。アップロード手順については、GUI オンラインヘルプ (OLH) または『[Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1](#)』を参照してください。
- TUI で AVT を使用して、グリーティングまたはプロンプトを録音します。AVT 電話番号をダイヤルし、オプションを選択してグリーティングを録音します。録音を終了したら、ファイルを保存します。AVT によって、Cisco Unity Express にファイルが自動的に保存されます。

AVT プロンプト ファイル名の形式は UserPrompt\_DateTime.wav です。たとえば、UserPrompt\_11152003144055.wav のようになります。CLI コマンドまたは GUI オプションを使用してファイルを PC にダウンロードし、ファイルの名前を有意な名前に変更し、ファイルを再び Cisco Unity Express にアップロードすることができます。

## 自動受付スクリプトの設定

Cisco Unity Express は、一連の自動受付プロンプトと、プロンプトへの発信者の応答を処理するための、スクリプトと呼ばれるプロセスを提供します。このスクリプトを編集して、特定の発信者の応答が異なる方法で処理されるようにすることもできます。たとえば、発信者が業務時間外に電話をかけてきた場合に、特定のメールボックスにボイス メッセージを残すよう案内することができます。

Cisco Unity Express に付属の Microsoft Windows ソフトウェア ベース スクリプト エディタ ソフトウェアを使用して、スクリプトの変更や新規スクリプトの作成を行います。ガイドラインと手順は、『[Cisco Unity Express Script Editor Guide](#)』を参照してください。

ファイルを 1 MB より大きくすることはできません。

スクリプト ファイルの作成後、ファイルを PC に保存します。CLI インターフェイスまたは GUI オプション **Voice Mail > Scripts** を使用して、スクリプト ファイルを自動受付アプリケーションにアップロードします。

## AIM と NM の相違点

Cisco Unity Express は、AIM と NM の両方でサポートされています。Cisco Unity Express 機能は、どちらのモジュールでも同じように動作しますが、次の例外があります。

- AIM は、最大 50 のボイス用メールボックスと 8 時間分のボイス メッセージを格納する 4 ポート モジュールです。NM は、最大 100 のボイス用メールボックスと 100 時間分のボイス メッセージを格納する 8 ポート モジュールです。
- NM で **trace** コマンドまたは **log** コマンドを発行すると、データが自動的にディスクに保存されます。AIM では、トレースおよびログ データはフラッシュ メモリに保存されません。AIM フラッシュ メモリにデータを保存するには、Cisco Unity Express CLI コマンドを使用します。
- Cisco Unity Express は、AIM フラッシュ メモリの使用と消費のアクティビティを追跡します。この追跡は、NM には必要ありません。CLI コマンド **show interface ide 0** および GUI オプション **Reports > System** を使用すると、フラッシュ メモリ消費データが表示されます。



## ソフトウェアライセンスとファクトリセットの制限

ファクトリセットシステムの制限は、注文したライセンスによって決まります。NM-CUE と NM-CUE-EC の制限は、表 2 および表 3 に示されています。AIM-CUE の制限は、表 4 および表 5 に示されています。

**表 2 NM-CUE および NM-CUE-EC におけるメールボックス、格納域の時間、ポート、スクリプト、プロンプトに対するシステムの容量**

| Cisco Unity Express<br>ライセンス / ソフトウェア<br>SKU | 合計メールボックス<br>格納域 (時間数) | デフォルトメール<br>ボックスサイズ<br>(分数) <sup>1</sup> | 同時ボイスメールと自動受付<br>ポート / セッションの数 | スクリプト数 | プロンプト数 |
|--|------------------------|--|--------------------------------|--------|--------|
| SCUE-LIC-12CCM<br>SCUE-LIC-12CME             | 100                    | 353                                      | 8 (NM-CUE)<br>16 (NM-CUE-EC)   | 8      | 50     |
| SCUE-LIC-25CCM<br>SCUE-LIC-25CME             | 100                    | 171                                      | 8 (NM-CUE)<br>16 (NM-CUE-EC)   | 8      | 50     |
| SCUE-LIC-50CCM<br>SCUE-LIC-50CME             | 100                    | 92                                       | 8 (NM-CUE)<br>16 (NM-CUE-EC)   | 8      | 50     |
| SCUE-LIC-100CCM<br>SCUE-LIC-100CME           | 100                    | 50                                       | 8 (NM-CUE)<br>16 (NM-CUE-EC)   | 8      | 50     |

1. デフォルトメールボックスサイズの計算には、共用メールボックス (GDM) の割り当てが含まれます。

**表 3 NM-CUE および NM-CUE-EC におけるメールボックス、グループ、所有者、およびメンバの最大数**

| Cisco Unity Express<br>ライセンス / ソフトウェア<br>SKU | 個人用メール<br>ボックスの<br>デフォルト数 | 共用メール<br>ボックスの<br>デフォルト数 | メールボックス<br>の合計数 | グループ数 | 所有者数 | メンバ数 |
|--|---------------------------|--------------------------|-----------------|-------|------|------|
| SCUE-LIC-12CCM<br>SCUE-LIC-12CME             | 12                        | 5                        | 17              | 20    | 400  | 880  |
| SCUE-LIC-25CCM<br>SCUE-LIC-25CME             | 25                        | 10                       | 35              | 20    | 400  | 1000 |
| SCUE-LIC-50CCM<br>SCUE-LIC-50CME             | 50                        | 15                       | 65              | 30    | 400  | 1000 |
| SCUE-LIC-100CCM<br>SCUE-LIC-100CME           | 100                       | 20                       | 100             | 40    | 400  | 1000 |

表 4 AIM-CUE におけるメールボックス、格納域の時間、ポート、スクリプト、プロンプトに対するシステムの容量

| Cisco Unity Express<br>ライセンス / ソフトウェア<br>SKU | 合計メールボックス<br>格納域 (時間数) <sup>1</sup> | デフォルト メール<br>ボックス サイズ<br>(分数) <sup>2</sup> | 同時ボイスメールと自動受付ポート/<br>セッションの数   | スクリプト数 | プロンプト数 |
|--|-------------------------------------|--|--|--------|--------|
| SCUE-LIC-12CCM<br>SCUE-LIC-12CME             | 14                                  | 28   | 4 (Cisco 2600XM、Cisco 2691)<br>6 (Cisco 2800 シリーズ、<br>Cisco 3700 シリーズ、<br>Cisco 3800 シリーズ) | 4      | 25     |
| SCUE-LIC-25CCM<br>SCUE-LIC-25CME             | 14                                  | 13   | 4 (Cisco 2600XM、Cisco 2691)<br>6 (Cisco 2800 シリーズ、<br>Cisco 3700 シリーズ、<br>Cisco 3800 シリーズ) | 4      | 25     |
| SCUE-LIC-50CCM<br>SCUE-LIC-50CME             | 14                                  | 7  | 4 (Cisco 2600XM、Cisco 2691)<br>6 (Cisco 2800 シリーズ、<br>Cisco 3700 シリーズ、<br>Cisco 3800 シリーズ) | 4      | 25     |

- 記載されている格納域の値は、AIM-CUE に 1 GB のコンパクト フラッシュが備わっている場合です。512 MB のコンパクト フラッシュを備えた以前の AIM-CUE バージョンは、4.5 時間 (270 分) のメールボックス格納域をサポートしています。Cisco Unity Express 2.1 の使用に際しては、512 MB コンパクト フラッシュを備えた以前の AIM-CUE を、1 GB のコンパクト フラッシュを備えた AIM-CUE モジュールに変換することをお勧めします。
- デフォルト メールボックス サイズの計算には、共用メールボックス (GDM) の割り当てが含まれます。

表 5 AIM-CUE におけるメールボックス、グループ、所有者、およびメンバの最大数

| Cisco Unity Express<br>ライセンス / ソフトウェア<br>SKU | 個人用メール<br>ボックスの<br>デフォルト数 | 共用メール<br>ボックスの<br>デフォルト数 | メールボックス<br>の合計数 | グループ数 | 所有者数 | メンバ数 |
|--|---------------------------|--------------------------|-----------------|-------|------|------|
| SCUE-LIC-12CCM<br>SCUE-LIC-12CME             | 12                        | 5                        | 17              | 20    | 100  | 200  |
| SCUE-LIC-25CCM<br>SCUE-LIC-25CME             | 25                        | 10                       | 35              | 20    | 100  | 200  |
| SCUE-LIC-50CCM<br>SCUE-LIC-50CME             | 50                        | 15                       | 65              | 20    | 100  | 200  |

## Cisco Unity Express とその他のボイスメール システムとのネットワーキング

Cisco Unity Express は、別のサイトにあるボイスメール システムと Cisco Unity Express とのネットワーキング機能をサポートします。ユーザは、Cisco CallManager または Cisco CallManager Express コール制御プラットフォームで設定された互換性のあるリモート ボイスメール システム上のユーザとの間で、メッセージを送受信できます。サポートされるコンフィギュレーションを次に示します。

- Cisco Unity Express から Cisco Unity Express へ
- Cisco Unity から Cisco Unity Express へ
- Cisco Unity Express から Cisco Unity へ

ネットワーキング機能の設定の詳細については、『[Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1](#)』を参照してください。

## 管理インターフェイス

Cisco Unity Express には、2 つの管理インターフェイスがあります。

- グラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) : このユーザにわかりやすい Web ベースのインターフェイスを使用すると、すべてのボイスメール機能および自動受付機能の管理が可能になります。

GUI は、Web ベースのアプリケーションに慣れていて、Cisco IOS コマンド構造の経験があまりない管理者に向いています。

- コマンドライン インターフェイス (CLI) : このテキスト ベースのインターフェイスには、GUI と同じ管理機能とコンフィギュレーション機能があります。インストール機能、アップグレード機能、トラブルシューティング機能は、CLI コマンドでだけ使用できます。管理者は、ルータへの telnet セッションによってこのインターフェイスにアクセスします。

CLI は、インストール担当者、サポート担当者、および Cisco IOS コマンド構造とルータに慣れたその他の担当者に向いています。これらの担当者にとっては、特にトラブルシューティング、スクリプト、多数のサイトのバルク プロビジョニングを実行する場合は、CLI を使用してシステムにアクセスする方が GUI を使用するよりも簡単です。CLI コンフィギュレーションの詳細については、『[Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1](#)』を参照してください。

GUI および CLI は、IP ネットワーク内の PC またはサーバからアクセスできます。GUI にアクセスするには、Microsoft Internet Explorer Version 6.0 以降のリリースを使用します。P.24 の「[Initialization ウィザードの概要](#)」を参照してください。Cisco Unity Express は、Netscape ブラウザをサポートしていません。CLI にアクセスするには、ルータへの telnet を実行し、**service-module** コマンドを使用します。

## Cisco Unity Express と Cisco Unity の相違点

Cisco Unity Express は Cisco Unity とは別のアプリケーションですが、どちらも Cisco ボイス メッセージ製品ファミリに入っています。その相違点を次に説明します。

- Cisco Unity は、Microsoft Windows ベースのアプリケーションであり、Microsoft Windows オペレーティング システムのメッセージ インフラストラクチャを使用します。Cisco Unity Express は、Linux ベースのアプリケーションです。
- Cisco Unity は、通常、複数のサイトとネットワークを構成できる中心のロケーションに配置されます。Cisco Unity Express Release 2.1 は、ローカル ユーザにサービスを提供するスタンドアロンロケーションに配置できます。

ただし、Cisco Unity Express システムは、Cisco Unity Express アプリケーションを格納するルータとの IP 接続がある任意のロケーションから管理できます。ネットワーク内のいくつかのサイトが Cisco Unity Express を使用している場合、それらは単一の PC またはサーバから個別に管理できます。管理者は、PC またはサーバでブラウザを開いて各サイトで GUI にアクセスするか、telnet セッションを開いて各サイトで CLI にアクセスします。

- Cisco Unity は 100 以上のメールボックスをサポートし、Cisco Unity Express は 100 以下のメールボックスをサポートします。
- Cisco Unity には、Cisco Unity Express Release 2.1 よりも大きい機能セットが備わっています。

Cisco Unity Express は Cisco Unity Release 3.1 ボイスメール プロンプト録音と、エンドユーザに同一のボイスメール ルックアンドフィールを提供するプロンプト フローを使用します。

## Cisco Unity Express と Cisco CME の相互作用

Cisco CME は、テレフォニー機能を制御するソフトウェアです。Cisco CME は、ネットワークで着信コールと発信コールを受信するルータ上にあります。Cisco CME には、着信コールと発信コールを送信すべきかどうかを決定するコール エージェントが含まれています。Cisco CME には、電話機ハードウェア識別、電話機に関連付けられた内線番号、システム上のユーザ、ログイン、転送宛先、コール処理機能、その他のシステム全体のパラメータなどを含む情報データベースがあります。

Cisco Unity Express は、ボイス メッセージ機能と自動受付機能を実装することによって Cisco CME を強化したアプリケーションです。Cisco Unity Express モジュールにはボイスメールおよび自動受付ソフトウェアが含まれています。システム インストール プロセスで、インストーラはこのモジュールを Cisco CME ルータに挿入します。Cisco Unity Express データベースには、ボイス用メールボックス、自動受付プロンプト、およびボイス メッセージに関する情報が含まれています。Cisco Unity Express データベースと Cisco CME データベースは、コールが正しく処理され、ボイス メッセージが適切に受信され保存されるように、同期されます。

統合された Cisco Unity Express と Cisco CME の管理ソフトウェアを使用すると、ボイスメールパラメータと自動受付パラメータ、および内線や電話などいくつかの Cisco CME パラメータを設定できます。初期化手順とコンフィギュレーション手順を進める際は、両方のデータベースに最新の情報が格納されるように、データを保存してください。

## Cisco Unity Express と Cisco CME の相違点

Cisco Unity Express は Cisco CME とは別のアプリケーションですが、どちらも Cisco ボイス メッセージ製品ファミリに入っています。その違いを次に説明します。

- Cisco CME では、Web 管理者がルータおよびその他のシステム コンポーネントを設定する必要があります。Cisco CME ユーザと管理者は、Cisco CME データベースに保存されます。Cisco CME は、Web 管理者を電話ユーザとして扱いません。

Cisco Unity Express では、設定済みの Cisco CME ユーザを Cisco Unity Express データベースにコピーできます。Cisco CME 管理者 ID は、Cisco Unity Express データベースにコピーできないので、Cisco Unity Express の管理者 ID として割り当てることができません。



### 注意

GUI を使用してコンフィギュレーションを開始する前に、Cisco CME 管理者は、初期化フェーズで Cisco Unity Express にコピーして Cisco Unity Express 管理者として指定できるよう、少なくとも 1 人の電話ユーザを Cisco CME で設定する必要があります。初期化プロセスの完了後に Cisco Unity Express GUI へ再びログインするには、Cisco Unity Express 管理者のユーザ ID とパスワードが必要です。

- Cisco Unity Express では、ユーザ ID に使用できるのは、文字、数字、下線 ( \_ )、ドット ( . )、およびダッシュ ( - ) だけです。その他の文字を含む Cisco CME ユーザ ID を Cisco Unity Express データベースにコピーすることはできません。ユーザ ID は文字で始める必要があります。
- パスワードにスペースは使用できません。受け入れられるパスワード文字は、a ~ z の小文字、A ~ Z の大文字、0 ~ 9 の数字、および記号 - , . + = \_ ! @ # \$ ^ \* ( ) ? / ~ < > & % です。
- Release 1.0 では、ユーザ ID とパスワードに大文字小文字の区別がありました。

## その他のリファレンス



次の各項では、Cisco Unity Express に関連するリファレンスを示します。

### Cisco Unity Express に関連するドキュメント

| 関連項目   | マニュアル タイトル  |
|--|---|
| Cisco Unity Express の管理  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1</a></li> <li>• <a href="#">Cisco Unity Express GUI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1</a></li> <li>• <a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager, Release 2.1</a></li> <li>• <a href="#">Cisco Unity Express GUI Administrator Guide for Cisco CallManager, Release 2.1</a></li> <li>• <a href="#">Cisco Unity Express Command Reference, Release 2.1</a></li> <li>• <a href="#">Release Notes for Cisco Unity Express Release 2.1.1</a></li> </ul> |
| Cisco Unity Express ボイスメール スクリプト                                     | <a href="#">Cisco Unity Express Script Editor Guide, Release 2.0</a>  |
| Cisco Unity Express ボイスメール エンド ユーザ情報                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Cisco Unity Express Voice Mail System - Quick Start Guide, Release 2.0</a></li> <li>• <a href="#">Cisco Unity Express Voice-Mail System User's Guide</a></li> </ul>  |
| Cisco モジュール ハードウェアのインストール  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Cisco Network Modules Hardware Installation Guide (第 22 章)</a></li> <li>• <a href="#">Installing Advanced Integration Modules in Cisco 2600 Series, Cisco 3600 Series, and Cisco 3700 Series Routers</a></li> <li>• <a href="#">Advanced Integration Module Quick Start Guide</a></li> <li>• <a href="#">Replacing Compact Flash Memory on Cisco AIM-CUE Advanced Integration Modules</a></li> <li>• <a href="#">AIM-CUE Slot Restriction on Cisco 3745 Routers</a></li> </ul>   |
| Cisco Unity Express ソフトウェアの著作権とライセンス                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• P.71 の「付録 A：ソフトウェアの著作権とライセンス」</li> </ul>   |
| Cisco Unity Express 用の TAC (Technical Assistance Center) サポート ドキュメント | <a href="#">Technical Notes for Cisco Unity Express</a>   |

| 関連項目                      | マニュアル タイトル  |
|---------------------------|---|
| Cisco CallManager         | <p>Release 4.1(2) :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Cisco CallManager Administration Guide, Release 4.1(2)</a></li> <li>• <a href="#">Cisco CallManager System Guide, Release 4.1(2)</a></li> <li>• <a href="#">Cisco CallManager Features and Services Guide, Release 4.1(2)</a></li> </ul> <p>Release 4.0(1) :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Cisco CallManager Administration Guide, Release 4.0(1)</a></li> <li>• <a href="#">Cisco CallManager System Guide, Release 4.0(1)</a></li> <li>• <a href="#">Cisco CallManager Features and Services Guide, Release 4.0(1)</a></li> </ul> <p>Release 3.3(4) :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Cisco CallManager Administration Guide, Release 3.3(4)</a></li> <li>• <a href="#">Cisco CallManager System Guide, Release 3.3(4)</a></li> <li>• <a href="#">Cisco CallManager Features and Services Guide, Release 3.3(4)</a></li> </ul> <p>Release 3.3(3) :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Cisco CallManager Administration Guide, Release 3.3(3)</a></li> <li>• <a href="#">Cisco CallManager System Guide, Release 3.3(3)</a></li> <li>• <a href="#">Cisco CallManager Features and Services Guide, Release 3.3(3)</a></li> </ul> |
| Cisco CallManager Express | <p>Release 3.2 :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Cisco CallManager Express 3.2 System Administrator Guide</a></li> <li>• <a href="#">Cisco CallManager Express 3.2 Command Reference</a></li> <li>• <a href="#">TAPI Developer Guide for Cisco CME/SRST</a></li> <li>• <a href="#">XML Developer Guide for Cisco CME/SRST</a></li> <li>• <a href="#">Integrating Cisco CallManager Express and Cisco Unity Express</a></li> </ul> <p>Release 3.0 :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Cisco CallManager Express System Administrator Guide 3.0</a></li> <li>• <a href="#">Cisco CallManager Express Command Reference 3.0</a></li> <li>• <a href="#">Cisco SRST System Administrator's Guide Version 3.0</a></li> <li>• <a href="#">Integrating Cisco CallManager Express Versions 3.0 and 3.1 with Cisco Unity Express</a></li> </ul>   |
| Cisco Unity               | <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Networking in Cisco Unity Guide</a></li> </ul>   |
| Cisco ハードウェア プラットフォーム     | <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Cisco 2600 Series Hardware Installation Guide</a></li> <li>• <a href="#">Cisco 2600 series hardware configuration notes</a></li> <li>• <a href="#">Voice features on Cisco 2600 series routers</a></li> <li>• <a href="#">Cisco 2800 Series Hardware Installation</a></li> <li>• <a href="#">Cisco 3700 Series Hardware Installation Guide</a></li> <li>• <a href="#">Cisco 3700 series hardware configuration notes</a></li> <li>• <a href="#">Software Configuration Guide</a></li> <li>• <a href="#">Cisco 3800 Series Hardware Installation</a></li> </ul>   |

## 関連する Cisco IOS ドキュメント

| 関連項目                        | マニュアル タイトル   |
|-----------------------------|--|
| Cisco IOS コンフィギュレーション       | <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Cisco IOS Debug Command Reference, Release 12.3T</a></li> <li>• <a href="#">Cisco IOS Voice Command Reference, Release 12.3T</a></li> </ul>  <p>(注) 一般的なボイス コンフィギュレーション項目は、『<a href="#">Cisco IOS Voice Configuration Library, Release 12.3</a>』を参照してください。</p> |
| Cisco IOS コンフィギュレーション例      | Cisco Systems Technologies Web サイト<br><a href="http://cisco.com/en/US/tech/index.html">http://cisco.com/en/US/tech/index.html</a><br> <p>(注) Web サイトから、技術カテゴリとそれに続くサブカテゴリ階層を選択し、<b>Technical Documentation &gt; Configuration Examples</b> をクリックします。</p>  |
| Cisco IOS ボイス トラブルシューティング情報 | <a href="#">Cisco IOS Voice Troubleshooting and Monitoring Guide</a>   |
| Cisco IP テレフォニー             | <a href="#">IP Telephony Solution Reference Network Design Guide</a>   |

## MIB

| MIB   | MIB リンク  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• CISCO-CUE-MIB</li> </ul> | 選択したプラットフォーム、Cisco IOS Release、および機能セット用の MIB を検索してダウンロードするには、<br><a href="http://www.cisco.com/go/mibs">http://www.cisco.com/go/mibs</a> にある Cisco MIB Locator を使用してください。 |

## RFC

| RFC  | タイトル  |
|------|---|
| 1869 | <i>SMTP Service Extensions</i>  |
| 1893 | <i>Enhanced Mail System Status Codes</i>  |
| 2045 | <i>Multipurpose Internet Mail Extensions Part One: Format of Internet Message Bodies, RFC</i> |
| 2421 | <i>Voice Profile for Internet Mail - Version 2</i>  |
| 2821 | <i>Simple Mail Transfer Protocol</i>  |

## テクニカル サポート

| 説明   | リンク   |
|--|---|
| 製品、テクノロジー、ソリューション、technical tips、およびツールへのリンクを含む、検索可能な 30,000 ページの技術コンテンツを含む TAC のホーム ページ。登録された Cisco.com ユーザは、このページからログインしてさらに別のコンテンツにもアクセスできます。 | <a href="http://www.cisco.com/public/support/tac/home.shtml">http://www.cisco.com/public/support/tac/home.shtml</a> |